様式第2号（第1条の4関係）　　（表面）

○請求者は、両親がいる場合は常に所得の高い方となります。
○津島市に住民票がない方は受給できません。

＜記入例＞

児童手当　認定請求書

（宛先）　津島市長

請求者	①（ふりがな）	つしま　たろう	②性別	男・女	③生
	氏名（法人名等）	津島　太郎	④職業	ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者	
	⑥住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒 123 － 4567 津島市〇〇町〇丁目〇番地　電話 0567（ 24 ）1121	1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください） 〇〇県〇〇	
	⑦個人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⑧請求者の加入している公的年金制度	ア．厚生年金保険　イ．国民年金　ウ．その他（　　） ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に〇を記入してください。 （　）私立学校教職員共済 （　）国家公務員共済　（　）地方公務員等共済	
配偶者等		つしま　は		和 平成 3・4・5 被用者 公務員 （勤務先：　　） 被用者等でない者	
		津島　花	⑭請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者の場合に〇印	控除対象配偶者 同一生計配偶者	⑮個人番号 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	⑪住所（⑥と異	〒　－	1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください） 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地	

		続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	※算定対象の場合に〇印
⑯児童の兄姉等（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）	津島　一郎	子	平成 15・5・1	有・無	有・無	同・別	令和　年　月	
	津島　次郎	子	平成 17・6・1	有・無	有・無	同・別	令和　年　月	

[注意]
⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。
（⑯児童の兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。）

	氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所（別居の場合）	※児童との関係該当する場合に〇印	※第3子以降の場合に〇印	※3歳未満の場合に〇印	※左記以外の場合に〇印	※手当月額
⑰ 児童	津島　一花	子	平成・令和 24・7・1	有・無	同一・維持	同・別	令和　年　月	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地〇〇	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円
	津島　二奈	子	平成・令和 2・8・1	有・無	同一・維持	同・別	令和　年　月						円
					同一・維持		令和		・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円
					同一・維持		令和		・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円

	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義	※合計月額
⑱支払希望金融機関	〇〇 銀行・信組・金庫・農協・漁協	普通・当座	3 3 3	〇〇	4 4 4 4 4 4 4	津島　太郎	円

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。　※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。

受付確認年月日
年　・　・
※支給開始年月
年　月 年　月分）

被用者：厚生年金加入者、公務員を除く各種共済加入者

被用者でない者：国民年金加入者、年金未加入者、無職、パート、扶養等

公務員の方は職場から手当を受給することになりますので、職場に申請してください。（一部、例外あり）

平日の昼間、通話可能な方の番号をご記入ください。

配偶者が請求者の被扶養の場合は、該当する項目に〇をしてください。
被扶養ではない場合や、ご不明な場合は未記入で構いません。

個人番号の欄にはマイナンバーをご記入ください。

提出時点で、請求者が加入している公的年金種別に〇をしてください。
また、厚生年金加入の方、または各種共済年金加入の方は、請求者の保険証のコピーを添付してください。

大学生年代の養育しているお子様についてご記入ください。

同居の場合は省略可です。
別居の場合は、「別居監護申立書※」の提出が必要です。
※の用紙は子育て支援課の窓口にてご用意しております。

高校生年代以下の養育しているお子様についてご記入ください。

お子様を育てている場合は「有」、
お子様を育てていない場合は「無」に〇をしてください。
「無」のお子様は、手当の支給対象外です。

請求者の子（養子縁組を含む）である場合で生計が同一の場合は「同一」、
請求者の孫等の場合で、請求者が子の生計を維持している場合は「維持」に〇をしてください。

請求者（保護者）本人名義の口座に限ります。